

【表彰】

学友会功劳賞

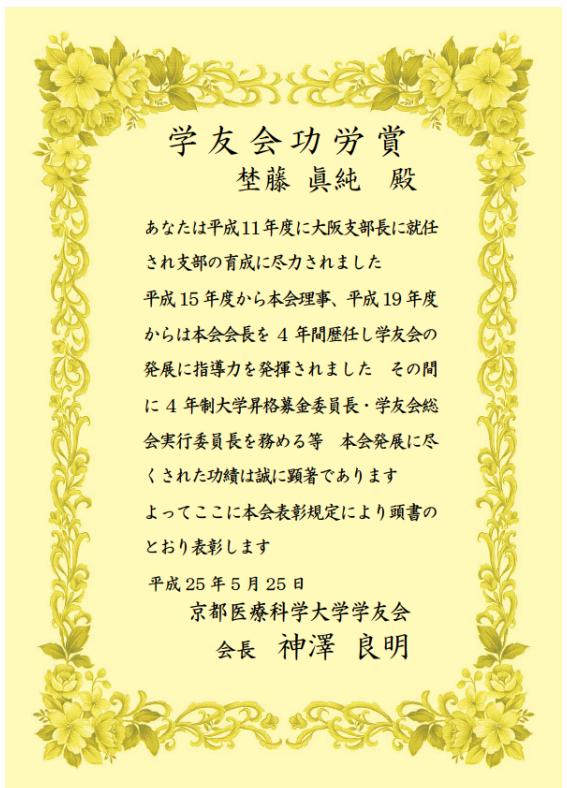
埜 藤 真 純(43回生)奈良支部

学友会 略歴

昭和 43 年 レントゲン技術専修学校卒業
 平成 11 年～15 年 学友会大阪支部 支部長
 平成 15 年～19 年 学友会理事
 平成 19 年～23 年 学友会会长

受賞理由

埜藤真純君は、昭和 43 年に母校を卒業、大阪厚生年金病院に勤務する傍ら、学友会大阪支部を盛り上げてきた。平成 11 年度から平成 14 年度まで大阪支部長として活躍し、本部学友会においては平成 15 年度から平成 18 年度まで理事、平成 19 年度から平成 22 年度まで会長に就任し、学友会の発展に大きな指導力を發揮した。その間、企画委員長、4 年制大学昇格募金委員長、2007 年度学友会総会の実行委員長、島津学園 85 年史編纂委員を務める等、多大な貢献をしたことによる功績。



学友会功劳賞を受けて



埜 藤 真 純(43回生)

さる平成 25 年 5 月 25 日、2013 年学友会総会(福岡県久山町:レークサイドホテル久山)において功労賞を賜り身に余る光栄と心から感謝しています。
 思い起させば、平成 11 年から平成 22 年まで支部役員、本部役員として学友会の運営に関わられたことは、歴史ある母校の卒業生の一人としてこれほど嬉しいことはございませんでした。

特に学友会の念願であった母校の 4 年生大学への転換を目の当たりにできしたこと、募金委員長として募金活動に関わったこと、更には、記念誌 “島津学園 85 年史” の編纂などに関わったことも忘れられない出来事で感慨も新たにしております。

大阪支部長、理事また会長として 10 年余りの職務を大過なく終えることができましたのも、これもひとえに学友会員や役員並びに関係者の方々の温かいご支援ご協力によるものでございます。本当にありがとうございました。学友会の益々の発展と母校の躍進を祈念し受賞のお礼とさせていただきます。

以上

* 通巻 208 号 2013 年 7 月 10 日発行 (H25-No.2) より